

実行委員会企画
「音楽教育学を展望する—隣接諸科学からの期待—」

ご挨拶 (5-109) 19日 (土) 13:15 ~ 13:25

日本音楽教育学会会長 今川 恭子
第50回大会実行委員長 佐野 靖

シンポジウム (5-109) 19日 (土) 13:25 ~ 14:55 1

音楽教育学を展望する
—隣接諸科学からの期待—

国立科学博物館 海部 陽介
東京大学 岡田 猛
ソニーコンピュータサイエンス研究所 古屋 晋一
司会・進行：東京藝術大学 佐野 靖

常任理事会企画

プロジェクト研究 (第6ホール) 19日 (土) 15:10 ~ 16:55 5

学校と社会を結ぶ音楽教育Ⅲ
—さまざまな文化にもとづいた音楽活動を教室に！—

基調講演 (Adviser)：ワシントン大学
Patricia Shehan Campbell
授業者 (Teacher)：桐蔭学園小学部 岩井 智宏
桐蔭学園小学部5年生
Adviser：名古屋短期大学 高須 裕美
Supporter：開智国際大学学生
コメンテーター：弘前大学 今田 匡彦
京都教育大学 田中 多佳子
企画・司会進行：開智国際大学 坪能 由紀子

研 究 発 表 (口頭発表)

研究発表A (5-109) 19日(土) 9:30~11:30

司会: 疇地希美(同朋大学)・小川昌文(横浜国立大学)

- A-1 舞踊は嘘を着飾らない 6
 —増殖する「世間」と、身体表現についての考察—
 弘前大学大学院生 小 杉 亜 衣
- 2 ヴィッカーズドルフ自由学校共同体における音楽教育 7
 —グスタフ・ヴィネケンとアウグスト・ハルムの思想を中心に—
 広島大学大学院生 樋 口 史 都
- 3 戦時下東京音楽の朝鮮出身学生 8
 —その学生時代と卒業後をめぐる—
 東京藝術大学 橋 本 久 美 子
- 4 国民学校芸能科音楽「聴音練習」に至る軍部の干渉の実態について 9
 北海道教育大学 長 尾 智 絵

研究発表B (5-401) 19日(土) 9:30~12:00

司会: 鈴木慎一郎(鳥取大学)・権藤敦子(広島大学)

- B-1 遠州浜松周辺における唱歌教育の黎明期 10
 立命館大学 丸 山 彩
- 2 近江セールズで販売されたミーズナー・ピアノ 11
 —ヴォーリズの諸活動における音楽を読みとく手がかりとして—
 お茶の水女子大学 齊 藤 紀 子
- 3 小林宗作の音楽教育観の変遷に関する研究 12
 —リトミック導入前から導入期にかけて著された論文の分析を中心に—
 こども教育宝仙大学 内 山 菜 津 子
- 4 戦前の子どもが語る《勅語奉答》《海ゆかば》の記憶 13
 —儀式唱歌が作った子どもの心と身体(Ⅱ)—
 学習院大学 嶋 田 由 美
 立教大学 有 本 真 紀
 広島大学 権 藤 敦 子
- 5 中等教育における音楽の基礎的な能力育成に関する歴史的検討 14
 —板野平の『音楽反応の指導法』に着目して—
 国立音楽大学大学院生 鈴 木 莉 紗

研究発表C (5-406) 19日(土) 9:30~12:00

司会: 時得紀子(上越教育大学)・清水 稔(弘前大学)

- C-1 アジア地域の音楽を教材とする中学校音楽科授業プランの提案 15
 —小泉文夫の音楽教育論を土台とした授業実践開発—
 千葉大学 本 多 佐 保 美
 小田原短期大学 大 田 美 郁
- 2 Women's Roles and Values in *Ak-geuk*, a Korean music drama 16
 National University of Education Min- Jung Son
- 3 日本文化における尺八と音楽教育における適応について 17
 東京学芸大学名誉教授・尺八都山流大師範 筒 石 賢 昭 山

4	幼児の遊びを伴う自発的な歌に関する一考察	18
		大阪音楽大学 長谷川 真 由
5	「子ども観」のパラダイムシフト	19
	—英国の劇場における事例とその教育効果—	
		東京大学 大 野 はな恵

研究発表D (5-407) 19日 (土) 9:30 ~ 12:00

司会：井本美穂 (岡山理科大学)・吉永早苗 (東京家政学院大学)

D-1	イギリスの初等教育におけるクロスカリキュラムとしての音楽	20
	—KS1 (5-7歳) 理科における意義とその役割—	
		東北福祉大学 鈴 木 敦 子
2	唱歌 (しょうが) を活用した小学校の授業の考察	21
	—江戸囃子に取り組んだ小学3年生と教師の変容—	
		東京学芸大学附属竹早小学校 徳 富 健 治
		江戸川大学 猶 原 和 子
3	音楽と演劇の融合性を重視した鑑賞授業の研究	22
	—芸術科音楽のオペラの授業実践を通して—	
		東京未来大学 結 束 麻 紀
4	学校教育における読譜指導の変遷	23
		町田市立つくし野中学校 宿 久 舞 希
5	R.シューマンの《子どものためのアルバム》Op.68 にみる音楽教育観	24
		広島文化学園大学 多 田 愉 可

研究発表E (5-408) 19日 (土) 9:30 ~ 12:00

司会：木村充子 (桜美林大学)・藤井浩基 (島根大学)

E-1	Exploring Korean Student's SSRL in Collaborative Music Appreciation Project	25
	Gyeongin National University of Education, Doctoral student Lee HaeSim	
2	小学校音楽教育の影響を学習者の経験から探る	26
	—10年越しの追跡研究を通して—	
		香港教育大学 松 信 浩 二
		東京学芸大学附属世田谷小学校 齊 藤 豊
3	SDGs理解を深める音楽科の題材開発および小中合同授業実践	27
	—ESDで求められる資質・能力および「価値づけ活動」を基盤として—	
		広島大学附属三原中学校 齋 藤 紘 希
4	小学校音楽科におけるプログラミング教育のための音楽づくり教材の開発	28
	—〈ティンカリング〉と〈ライブ・コーディング〉に着目して—	
		広島大学大学院生 長 山 弘
5	教科間を通じた遠隔操作授業実践	29
	—中学校の音楽科と英語科を通して—	
		鹿児島国際大学・鹿児島市立黒神中学校 水 谷 いつみ

研究発表F (5-409) 19日(土) 9:30~12:00

司会: 小井塚ななえ(東洋英和女学院大学)・高橋範行(愛知県立大学)

- F-1 小学生と大学生の合同授業から見えた小大連携の課題と展望 30
—音楽づくりにおける手づくり楽器実践を通して—
京都ノートルダム女子大学 古庵晶子
京都女子大学 野尻麻衣子
- 2 音楽的な表象に着目した記譜の実践・調査 31
—小学校5年生を対象として—
京都女子大学 難波正明
池坊短期大学 吉田直子
京都女子大学 野尻麻衣子
- 3 東京の民謡《江戸の鳶木遣》の授業プラン 32
—音楽的な特性と文化との関わりからみた特性を踏まえながら—
玉川大学 清水宏美
- 4 多感覚相互作用に注目した芸術教育による感性の育成に関わる基礎研究 33
信州大学 齊藤忠彦
- 5 祭礼と音楽教育 34
—「鞍馬の火祭」における音楽・音、音の風景を通して—
京都市立椋原小学校 小川豊子

研究発表G (5-410) 19日(土) 9:30~11:30

司会: 森下修次(新潟大学)・近藤真子(文教大学)

- G-1 18世紀から20世紀までの指導書から見るピアノ指導法の変遷と考察 35
—現在の中国におけるピアノ教育の課題—
エリザベト音楽大学大学院生 楊 卿
エリザベト音楽大学 壬生千恵子
- 2 ミニマル・ミュージックとミニマル・アートおよびその周辺の美術との
相関性 36
—音楽科と美術科の教科書分析—
東京学芸大学大学院生 生田美子
- 3 音楽科教育における教材・学習材概念 37
—教育内容の多様化に即した再検討—
北海道教育大学札幌校 石出和也
- 4 A Study on Life Satisfaction of Elderly Women Involved in Primary Literacy
Curricula 38
Westminster Graduate School of Theology Su Jeong Han

研究発表H (5-301) 19日(土) 9:30~12:00

司会: 水崎 誠(東京学芸大学)・笹野恵理子(立命館大学)

- H-1 音楽科における「深い学び」に関する研究 39
—ディープ・アクティブラーニング理論に基づく尺度開発—
山口大学 高橋雅子
- 2 教材解釈に関する課題と音楽科の教育内容の展開 40
—共通歌唱教材「虫のこえ」の教材解釈を手がかりに—
千葉経済大学 小池順子

3	中学生の音楽鑑賞教育に関する実証的研究 —「計量テキスト分析」による言語分析を中心に—	41
	広島文化学園大学 高橋 千 絵	
4	音楽科授業を行う新人教師の実践知 —A教諭の実践知分析を手がかりとした新人教師教育への提言—	42
	佛教大学 高見 仁 志	
5	ピアノ初見演奏のためのスケール練習の効果 —中級者の指導事例から—	43
	桜花学園大学 玉 護 真理子	

研究発表 I (5-213) 19日(土) 9:30~12:00

司会：伊藤 誠 (埼玉大学)・尾見敦子 (川村学園女子大学)

I-1	単旋律楽器による即興演奏法 —ジャム・セッションにおける満足のいく演奏へのアプローチ—	44
	摂南大学 釣 本 聖 司	
2	保育者養成課程におけるピアノ指導者の意識 —最近10年間の国内の研究動向を通して—	45
	沖縄県立芸術大学 伊 東 陽	
	岡山県立大学 辻 陽 子	
3	小学校教員養成課程における音楽伝統文化の取り扱いについての一考察	46
	創価大学 董 芳 勝	
4	身体表現のためのピアノ伴奏教則本にみられるアナクルーシスについて	47
	中部大学 寺 井 郁 子	
5	Professional Identity of Elementary School Music Teachers	48
	Seoul National University, Ph.D. course JIHYE KIM	

研究発表 J (5-212) 19日(土) 9:30~12:00

司会：菅 道子 (和歌山大学)・長谷川諒 (神戸大学)

J-1	聴覚障がい乳幼児への音楽的アプローチ	49
	西南女学院大学短期大学部 末 成 妙 子	
2	ノルウェーのコミュニティ音楽療法に関する総合的研究 —理論・実践・教育—	50
	福島大学 杉 田 政 夫	
3	The Effect of an Music Therapy Program Using Visual Instruments for Emotional Regulation of Adolescents	51
	Kyung Hee University Master Degree Yoon Jeong Kang	
	Kyung Hee University Master Degree Jimin An	
	Kyung Hee University Yoon Han Jeon (corresponding author)	
4	ろう教育の変遷 —音楽科の成立以前をたどる—	52
	弘前大学大学院生 外 崎 純 恵	

5	「動いている音楽」：図形楽譜を用いたインクルーシブな活動の可能性 —学校の内外をつなぐコミュニティ音楽活動の共同研究から—	53
	大阪市立大学 沼田里衣	
	和歌山大学 上野智子	
	和歌山大学 菅道子	
	和歌山大学 山崎由可里	

研究発表K (5-109) 20日(日) 9:00~11:30

司会：杉田政夫(福島大学)・清水宏美(玉川大学)

K-1	J.R.ヴェーバーの唱歌教育論における初等・中等教育の継続性 —『理論的実践的唱歌論』の分析を通して—	54
	京都女子大学 関口博子	
2	音楽科教育における「芸術」言説に関する歴史研究 —「わらべうたを出発点とする音楽教育」における「民族」と「芸術」—	55
	東京藝術大学大学院生 庄司健人	
3	合目的化された「知覚」と「感受」の危険性 —認識論による哲学的論考—	56
	弘前大学 清水稔	
4	新聞記事から読み取る〈オンチ〉という言葉 —言説分析を方法論として—	57
	弘前大学大学院生 子川朝子	
5	音楽教育の〈脱構築〉 —デリダのフッサール現象学批判を切り口として—	58
	弘前大学大学院生 石川裕貴	

研究発表L (5-401) 20日(日) 9:00~11:30

司会：早川倫子(岡山大学)・坂井康子(甲南女子大学)

L-1	「音」が「音楽」になる、その過程で育つ「文化力」についての考察 —重い障がいをもつ子どもとの関わりから音楽教育の可能性を探る—	59
	たかやま音楽療法研究所 高山仁	
2	4歳児のつくり歌の音楽的特徴	60
	名古屋市立大学研究員 平田嘉之	
3	神戸大学附属幼稚園における幼児の音楽表現を育む保育実践の事例研究 —行為の構造分析法を用いて—	61
	小田原短期大学 小松原祥子	
4	幼児の楽器の導入と教育という枠の関係性 —タンブリンの導入を手掛かりに—	62
	大阪信愛学院短期大学 津田奈保子	
5	保育演習での保育内容5領域に対する音楽の活用について —保育科教員としての視点から—	63
	守里会看護福祉専門学校 十河治幸	
	守里会看護福祉専門学校 菊池光子	

研究発表M (5-406) 20日(日) 9:00～11:30

司会：古山典子(福山市立大学)・大野はな恵(東京大学)

M-1	3～4歳児の声域は狭いのか?②	64
	—子どもが潜在的に保有する幅広い声域を、無理なく楽しく顕在化させるには— ヤマハ音楽研究所 熊坂好孝 声楽家 浦方郷成	
2	五感を育む絵本の読み聞かせに関する一考察	65
	—フランスにおけるアニメーションの実践をもとに— 鹿児島大学 今由佳里	
3	領域「表現」が目指すものと音楽教育について考える	66
	—うめのみ保育園の実践から見えてくること— 十文字学園女子大学 二宮紀子 元うめのみ保育園 榎田光代	
4	音への関心に繋がるポートフォリオ	67
	—ICTの活用は記録に見出す— つくば国際短期大学 板橋華子 つくば国際短期大学 仲条幸一	
5	ことばのリズム遊びにみられる幼児の音楽的表現	68
	東京学芸大学 水崎誠	

研究発表N (5-407) 20日(日) 9:00～12:00

司会：木間英子(昭和女子大学)・嶋田由美(学習院大学)

N-1	幼少期の子供に向けた長唄指導の実践	69
	—指導者のかける掛け声に注目して— 同朋大学 山田佳穂	
2	学校教育で目指す音楽行為の意義と価値	70
	—小学校における鑑賞授業の分析を通して— 東京学芸大学大学院生 笹谷幸代	
3	東京府立第四高等女学校の音楽教諭・野矢トキが選んだうた	71
	—卒業生の『音楽ノート』を手がかりに— 実践女子大学 越山沙千子	
4	音楽教師の省察に関する理論的考察	72
	—「省察的实践」概念の再考— 熊本大学 瀧川淳	
5	《山の音楽家》その元歌の伝搬と変容	73
	公益社団法人才能教育研究会 村尾忠廣	
6	音楽科創作活動におけるeポートフォリオ導入の可能性	74
	洗足学園音楽大学大学院生 水谷歩夢	

研究発表O (5-408) 20日(日) 9:00～12:00

司会：駒久美子(千葉大学)・本多佐保美(千葉大学)

O-1	小学校音楽科における視唱力の育成に関する実証的研究(3)	75
	—2018年度・2019年度第3学年児童への実践と調査をとおして— 比治山大学 緒方満 広島県立国泰寺高等学校 大西潤一 広島市立戸坂小学校 中峯悠太	

2	児童は楽曲習得時のキーを覚えているか（第2報） —人気楽曲を用いた再認法による検討—	76
	広島県立国泰寺高等学校 大西潤一 比治山大学 緒方満 広島市立戸坂小学校 中峯悠太	
3	音楽デジタル教科書における日本の民謡の現状と課題 鳥取大学 鈴木慎一朗	77
4	イギリスの中等教育修了試験（GCSE Music）における内容分析 —試験機関の相違による比較検討—	78
	東京学芸大学 森尻有貴	
5	学校音楽を「学ぶ」ことと「教える」ことの諸相（6） —教師の学校音楽カリキュラムへの意味付与—	79
	立命館大学 笹野恵理子	
6	昭和33年学習指導要領改訂直後の実験学校における実践研究の方向性 —東京学芸大学附属世田谷小学校と横浜国立大学附属鎌倉小学校に着目して—	80
	広島大学大学院生 渡部亜美	

研究発表P（5-409）20日（日）9：00～12：00

司会：磯田三津子（埼玉大学）・高橋雅子（山口大学）

P-1	思考力、判断力、表現力を育成するスクールバンド指導 —文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン策定に伴う指導法の研究—	81
	日野市立日野第五小学校 稲田啓人	
2	創作につながるソルフェージュ学習の有効性 —体験的な学習から、感性と知性を働かせる音楽活動—	82
	大和市立渋谷中学校 平石孝太	
3	音楽創作活動における情意領域の評価 —連想法による情意ベクトルの分析—	83
	東京学芸大学大学院生 中村昭彦	
4	フィンランドにおける音楽科カリキュラムの変遷と特徴 —Framework Curriculum for the Comprehensive School 1994を中心として—	84
	広島大学附属福山中・高等学校 藤井恵子	
5	Comparative Analysis of Listening Examples in the 5th & 6th Grades Music Textbooks in Korea	85
	Jeonju National University of Education Rim, Mikyung	
6	韓国の音楽教科書に現れた日本の音楽 淑明女子大学音楽教育科招聘教授 権恵根	86

研究発表Q（5-410）20日（日）9：00～12：00

司会：松永洋介（岐阜大学）・早川富美子（國學院大学栃木短期大学）

Q-1	保育者養成課程における『総合表現演習』の実践例 —絵本の中の音とリズムに着目して—	87
	名古屋女子大学短期大学部 平澤節子	
2	学生の音楽教育観の形成についての考察（2） —デジタルポートフォリオを生かした模擬授業の省察を通して—	88
	盛岡大学 山口亮介	

3	即興演奏実践時に促進される主観的（間主観的）価値判断の具体 —サウンドペインティング実践者への半構造化面接とテキストデータの質的分析—	89
		神戸大学 長谷川 諒
4	コミュニティ音楽における音楽活動モデルに関する研究 —欧米におけるコミュニティ音楽とコミュニティ音楽活動—	90
		国立音楽大学大学院生 石 森 雄 大
5	合唱活動参加者における指導者や共同学習者に対する認識の変容 —音楽学習の認識の変容とともに—	91
		広島大学大学院生 小 坂 光
6	合唱による地域連携の歩みとその分析 —大学カリキュラムの視点から—	92
		横浜市立折本小学校 伊 藤 裕 来

研究発表R（5-301）20日（日）9：00～12：00

司会：桐原 礼（信州大学）・高見仁志（佛教大学）

R-1	学生の課題に応じたルーブリック作成とその活用 —教員養成課程におけるピアノ実技の指導と学習を通して—	93
		静岡大学 服 部 慶 子 岐阜大学 長谷川 哲 也
2	教員養成課程の学生における音楽リテラシー獲得の実態 —音高再生力の測定を通して—	94
		帝京大学 田 崎 教 子
3	教科連携による新たな芸術教育の可能性 —子ども講座にみる、楽器製作からインプロ・音楽映像作品完成までのプロセス—	95
		琉球大学 岡 田 恵 美 琉球大学大学院生 赤 嶺 絵 史 子
4	ヴァイオリン奏法習得に向けた学習教材の選定と開発 —集団学習の利点を生かした指導の創意・工夫—	96
		埼玉大学 伊 藤 誠
5	子どもの歌唱活動における音楽的成長と価値観の変容 —倉敷少年少女合唱団に着目して—	97
		広島大学大学院生 青 木 彩 絵 子
6	改良ハンドサインとリトミック的活動による合唱指導 —成人合唱団への指導を通して—	98
		正木音楽学園 正 木 一 輝

研究発表S（5-213）20日（日）9：00～12：00

司会：三村真弓（広島大学）・市川 恵（早稲田大学）

S-1	音楽と身体による表現の可能性（Ⅱ） —保育者養成における創作表現の試み—	99
		鶴川女子短期大学 高 畠 扶 貴
2	音楽大学における教職課程のあり方を考える —入り口としての教職概論—	100
		東京学芸大学 田 中 正 雄

3	ピアノの先生の客間 —地域の音楽教室の役割とその意義について—	101
		弘前大学大学院生 今 福 鷹 啓
4	音楽によるサクセスフル・エイジングの一例	102
		よしかミュージック 山 下 世史佳
5	若手教員を対象とした授業づくり研修サークルの試み —「音楽授業づくりファンテーブル」の実際から—	103
		上越市立春日小学校 湯 澤 卓
6	日本の大学における音楽健康医学教育に関する比較研究 —音楽生理学と音楽家医学のためのドイツ協会のガイドラインをベースに—	104
		東京大学大学院生 赤 池 美 紀

研究発表T (5-212) 20日(日) 9:00~12:00

司会: 齊藤忠彦(信州大学)・水戸博道(明治学院大学)

T-1	運動直前の音楽聴取が「瞬発的動作」に及ぼす影響 —全身反応測定器を用いたリアクションテストの結果を中心に—	105
		兵庫教育大学大学院生 仙 田 真 帆 岡山大学 小 川 容 子
2	小学生・中学生の歌唱における「音痴」意識 —学年差および性差の検討—	106
		宮城教育大学 小 畑 千 尋
3	同じ地平にある学習者同士の相互行為から捉えるわが世界の再構成 —実証研究によるわが言語論の理論的基盤の拡張—	107
		茨城県立下館第一高等学校 小 林 剛 志
4	「身体性を帯びた見方・考え方」を育む音楽科の授業 —アフォーダンス理論の応用で見える音楽科の「見方・考え方」育成への一方策—	108
		新潟市立新津第一小学校 内 海 昭 彦 新潟市立中野山小学校 渡 辺 ゆみ子
5	鑑賞における音楽理解の構造 —perceived emotionとfelt emotionの検討を通して—	109
		国立音楽大学大学院生 鶴 岡 翔 太
6	5か園の幼児の音楽的表現の動作解析と音楽的諸要素の認識	110
		大阪樟蔭女子大学 佐 野 美 奈

研究発表(ポスター発表)

研究発表U・V (第1ホール) 19日(土) 10:30~11:45

座長: 小山英恵(東京学芸大学)・小畑千尋(宮城教育大学)

* UとVどちらも、奇数番号、偶数番号ごとに責任在席時間が異なります。

奇数番号発表者の責任在席時間 10:30~11:00

偶数番号発表者の責任在席時間 11:15~11:45

U-1	国際バカロレア(芸術・音楽)における学習指導案の思想 —ユニットプランナーの分析から—	111
		岐阜大学 松 永 洋 介

2	考古学と音楽教育の連携 —縄文文化をもとにした音楽づくりの試み—	112
	國學院大學栃木短期大学 早川 富美子 國學院大學栃木短期大学 中村 耕作	
3	和の音とかけ声を用いた授業実践の試み	113
	甲南女子大学 坂井 康子 京都橘大学 佐野 仁美 京都女子大学 岡林 典子	
4	福島県の中等学校課外活動における合唱の実践 —教師と生徒はいかに合唱技術を学び高め合うのか—	114
	横浜国立大学大学院生 関根 歩	
5	中学校音楽科の学習と生活や社会の音楽との結びつきを深める指導研究 —中学生の音楽嗜好・音楽との関わり方を基に—	115
	横浜国立大学大学院生 佐藤 永理	
6	A Case Study on 'Practical Application Area' in Korean Elementary Music Instruction	116
	Jinga Elementary School KIM YUN JEONG	
7	The Development of Creativity competencies through Elementary School Music Classes Based on the Creative Thinking Process	117
	Purensol Elementry School JEONG JIHYE	
8	The Development and Application of Music-Centered STEAM Program for Elementary School	118
	Misagangbyeon Elementary School Jung Daeun	
9	スペインの初等音楽科における身体表現活動の授業デザイン —多文化共生に資するコンピテンシー育成の視点より—	119
	信州大学 桐原 礼	
10	具体的操作期前後の抽象的意識から具体的意識へ導く指導の模索 —小4から中1を対象にした合わせる活動に関する調査にもとづいて—	120
	愛知教育大学大学院生 小野 志織	
11	音楽を形づくっている要素を聴き取り、感じ取ったことと関連付ける指導 —「白鳥」の鑑賞活動における発問のしかたについて—	121
	牛久市立向台小学校 飯泉 正人	
12	小学校における「主体的・対話的で深い学び」の尺度開発に関する研究 —音楽科と他教科における学び尺度の比較を通して—	122
	山口大学大学院生 三隅 圭那子	
13	88鍵を越えて —プリペアードピアノと音楽室—	123
	弘前大学大学院生 千葉 文奈	
14	カンボジア王国における新たな芸術科シラバスのモデル音楽教科書について	124
	広島大学附属三原小学校 山本 千恵	
15	Development of Music Integrated Textbooks —Practice and Investigation in Shishi Elementary School, Sichuan Province, Chengdu—	125
	エリザベト音楽大学大学院生 Zhou Puxiao	

16	Original Philippine Piano Method Book for Young Beginners	126
	—Production Practice and Challenges Learn from the Japanese Music Publishing— エリザベト音楽大学大学院生 Belandres Carell エリザベト音楽大学大学 壬 生 千恵子	
17	特別な支援を要する子どもへ音楽を教えるためのアプローチに関する研究	127
	—米国の特別支援教育に着目して— 広島大学大学院生 小 川 里 菜	
18	音楽科の本質に迫る学びの構造に関する研究	128
	—香川大学教育学部附属高松小学校の取り組みに着目して— 広島大学 三 村 真 弓 香川大学 岡 田 知 也 広島大学名誉教授 吉 富 功 修	
19	「ふしづくりの教育」の実践	129
	—広島市立戸坂小学校における第1段階の実験的実践を中心として— 広島大学名誉教授 吉 富 功 修 広島大学 三 村 真 弓	
V-1	日本の青少年への管楽器導入における早期教育	130
	—管楽器早期教育の必要性及びそのシステム化の研究— 岐阜大学 松 浦 光 男 東京藝術大学 横 田 揺 子	
2	「小学校歌唱共通教材」を用いたコード付け伴奏学習の授業実践	131
	—歌唱授業の導入及び改訂版テキスト使用による習得度の変化— 常葉大学 明 和 史 佳	
3	歌唱への苦手意識の背景	132
	—保育専門学校の学生における音楽スキルと指導の在り方— 国立音楽大学大学院生 梁 瀬 広 奈	
4	音楽授業におけるインタラクティブ・ティーチングの実践	133
	—大学生を対象とした「初心者のための鍵盤楽器奏法」を事例として— 岩国短期大学 井 上 美 佳	
5	フィンランドにおける音楽科教員養成の現状と課題	134
	—授業及びレッスンの分析とインタビュー調査を通して— 東京藝術大学大学院生 川 畑 有 佳	
6	「小学校学習指導要領 第2章 各教科 第6節 音楽 第1目標」可視化の試み	135
	—教科教育法授業での取り組み— 帝京科学大学 飯 泉 祐 美 子	
7	保育者養成における「豊かな感性や表現する力」を伸ばすピアノ指導の実践例	136
	—フィンガートレーニング・想像力を育む声掛けそれぞれの視点から— 昭和学院短期大学 守 田 絢 子 昭和学院短期大学 宇 杉 美 絵 子	
8	小学校教師のための音楽経験プログラム（1）	137
	—「音楽を聴く力」の育成に着目して— 福山市立大学 古 山 典 子	
9	学校部活動における部活動指導員の活用	138
	—音楽系部活動に着目して— 広島大学大学院生 新 見 瞭	

10	地域における音楽活動の意義と可能性	139
	—全国の児童合唱団を対象とした質問紙調査を通して—	
	早稲田大学 市川 恵	
	東京藝術大学 萩原 史織	
	東京藝術大学 船越 理恵	
11	公共文化施設施設設計画の課題と展望	140
	—コミュニティデザインの視点に着目して—	
	広島大学大学院生 酒田 裕樹	
12	保育者養成校における音楽表現指導について	141
	—アンケート調査結果より—	
	福岡こども短期大学 岸川 良子	
13	教育実習先からのピアノ課題に取り組む学生の現状を探る	142
	—和泉短期大学2年生へのアンケート調査から—	
	和泉短期大学 山本 美貴子	
14	文化的多様性に関連したドイツの音楽教育の動向	143
	広島大学 伊藤 真	
15	音楽活動で苦手意識を克服する特別支援学級における試行	144
	—自ら進んで交流及び共同学習に参加できるように—	
	名古屋市立山田小学校・愛知教育大学大学院生 平賀 真司	
16	特別支援学校（知的障害）音楽科指導内容解説表の作成	145
	熊本大学 藤原 志帆	
17	再生ガムランを用いた音楽づくりの意義とその可能性	146
	—「自分たちのガムラン音楽をつくろう」実践事例中心に—	
	高知大学 金 奎道	
18	芸術系におけるファンドレイジング	147
	筑波大学 松山 久美	
19	養育者の子育てにおける「うたう行為」の可能性	148
	岡山大学 早川 倫子	
	岡山大学 片山 美香	

研究発表W・X（第1ホール）20日（日）10：30～11：45

座長：伊藤 真（広島大学）・長山 弘（広島大学大学院）

*WとXどちらも、奇数番号、偶数番号ごとに責任在席時間が異なります。

奇数番号発表者の責任在席時間 10：30～11：00

偶数番号発表者の責任在席時間 11：15～11：45

W-1	犬童球溪の作歌作品についての一考察	149
	—掲載誌の分析を通して—	
	愛知教育大学 国府 華子	
2	音の重なり感に与える線画アニメーションの効果	150
	兵庫教育大学大学院生 高橋 潤子	
3	ドイツにおける異文化間音楽教育の展開	151
	—D.Barthによる意味指向の文化概念に焦点をあてて—	
	東京学芸大学 小山 英恵	
4	「生活と社会の中の音楽」にリメイクする授業実践	152
	—学習指導要領の完全実施に向けて—	
	東京学芸大附属世田谷中学校 原 口 直	

5	ドイツ語で行われる器楽レッスンにおける会話の特徴	153
	東京藝術大学 牛山 さおり	
6	音環境の記譜法 sonography としての図形楽譜	154
	—視覚的情報を利用したサウンド・エデュケーション—	
	弘前大学大学院生 金崎 惣一	
7	中国における音楽教師志望学生の学習環境と学習行動に関する調査	155
	—音楽教育専攻生と音楽教育以外の専攻生を対象に—	
	広島大学大学院生 許 于蘭	
8	大学のオーケストラサークルにおける学習に関する研究	156
	—平成28年度X大学入学者へのインタビューを通して—	
	広島大学大学院生 杉村 健太郎	
9	連弾課題におけるテンポ感・拍節感の獲得	157
	—保育者養成課程におけるピアノレッスンノートとアンケート調査から—	
	同朋大学 疇地 希美	
	中部大学 吉村 雅美	
10	J.ブラームス《51の練習曲》WoO 6における指の学習法	158
	—保持音、重音の分析を通して—	
	お茶の水女子大学大学院生 中谷 路子	
11	<i>Papers and proceedings of the MTNA</i> にみられる米国の音楽教育の動向	159
	—1910年以前の当該雑誌に着目して—	
	広島大学大学院生 山辺 未希	
12	明治後期における幼稚園の唱歌教育	160
	—唱歌集や掛図の検討を通して—	
	東京家政大学 西海 聡子	
13	1920年代～30年代における小学校「唱歌」教育の展開	161
	和歌山大学 菅 道子	
14	コンテンポラリーダンサーが「考えずに動く」ことに関する一考察	162
	広島市立大塚中学校 藤井 菜摘	
15	プログラミング言語ツールを用いた創作学習の有用性	163
	兵庫教育大学連合大学院生 今成 満	
X-1	保育者養成校における音楽表現の取り組みについての一考察	164
	—保育内容指導法「表現」の授業を通して—	
	園田学園女子大学短期大学部 中村 愛	
2	乳幼児期の歌遊びにおけるナラティブの共創造(2)	165
	聖心女子大学 今川 恭子	
	早稲田大学 市川 恵	
	東京藝術大学 伊原 小百合	
3	子どもの表現を導く保育(1)	166
	—保育内容「表現」の変遷—	
	浜松学院大学 迫 共	
	ピアノ講師 足立 千恵	
4	子どもの表現を導く保育(2)	167
	—音楽的活動に着目して—	
	ピアノ講師 足立 千恵	
	浜松学院大学 迫 共	

5	保育者養成における音楽実技指導の課題 —表現する子どもの姿と養成教育の往還の視点から—	168
	桜美林大学 木村 充子	
6	子どもの素朴な表現をひろいひろげる保育者の音楽的資質 —平成30年度改定保育所保育指針等から考える—	169
	名古屋市立大学大学院研究員 永津 利衣	
7	子どもの合奏についての一考察 —遊びから展開するアイデアを参考に—	170
	帝京大学 若谷 啓子	
8	幼児期の自由遊びにおける楽器探索 —遊び方の変遷に着目して—	171
	東京藝術大学 伊原 小百合	
9	音楽教育が幼児期において実行機能に与える影響 —音楽表現に対する保育者の意識の変容プロセス—	172
	常磐短期大学 鈴木 範之	
	宮城教育大学 香曾我部 琢	
	浜松学院大学短期大学部 永岡 和香子	
	愛知学泉短期大学 本多 峰和	
	東京学芸大学 水崎 誠	
10	乳幼児とモノのかかわりにみる音楽性 —素材に着目したワークショップを通して—	173
	東洋英和女学院大学 小井塚 ななえ	
11	TASモデルの展開 —ブルース即興による授業感想分析—	174
	埼玉県小学校 高橋 めぐみ	
	千葉大学 駒 久美子	
12	複式学級における学年別指導による音楽の授業 —異なる領域の組み合わせによる授業の試み—	175
	北海道教育大学旭川校 芳賀 均	
	北海道教育大学大学院生 大野 紗依	
13	ピアノ初学者に対する指導法の検討 —バイエルNo.48を事例として—	176
	名古屋経営短期大学 南谷 悠子	
14	富山県民謡《こきりこ節》の編曲及び合奏活動の有効性 —小学校音楽科における授業実践を通した一考察—	177
	東京学芸大学大学院生・東京学芸大学附属小金井小学校 岡田 愛	
15	戦後の小学校音楽科教科書にみる美しき絵譜の世界	178
	佛教大学 臼井 奈緒	
16	教員養成における音楽授業プログラムの一考察 —米国 N.Y. 州の領域横断的なアプローチを視座として—	179
	上越教育大学 時得 紀子	
17	ICTを活用した創作活動についての一考察 —初等中等教育における実践事例を視座として—	180
	東京学芸大学大学院生 時得 里彩	
18	イメージ把握にみられる日韓の差異 —《縁の詩》を題材に—	181
	金剛学園 井越 尚美	

共 同 企 画

- 共同企画Ⅰ** ワークショップ（5-401）20日（日）13：15～14：45 182
 アフリカンリズムとコミュニケーション
 —劇団四季ライオンキング初代打楽器奏者BBモフランに学ぶ—
 企画・実践：音楽療法NPOムジカトゥッティ 多田羅 康 恵
 進行・実践： Boku Office JAPAN B B モ フ ラ ン
 話題提供者： 東京家政学院大学 吉 永 早 苗
 北海道教育大学旭川校 芳 賀 均
- 共同企画Ⅱ** パネルディスカッション（5-408）20日（日）13：15～14：45 183
 子どものクリエイティビティを育むTASモデルによる授業の展開
 —Adviser と Supporter の役割に焦点を当てて—
 話題提供： 東京成徳大学 味 府 美 香
 千葉大学 駒 久美子
 帝京大学 塚 原 健 太
 洗足学園音楽大学・
 ガムラン演奏家 森 重 行 敏
 企画・司会： 開智国際大学 坪 能 由 紀 子
- 共同企画Ⅲ** ラウンドテーブル（5-409）20日（日）13：15～14：45 184
 新時代の学校音楽教育
 話題提供： 宮崎大学 菅 裕
 佛教大学 高 見 仁 志
 国立音楽大学 津 田 正 之
 企画・進行： 信州大学 齊 藤 忠 彦
- 共同企画Ⅳ** ラウンドテーブル（5-301）20日（日）13：15～14：45 185
 楽譜を読む楽しさを子どもたちに与えよう
 —コダーイ・メソッドを手立てとして—
 企画・話題提供：川村学園女子大学 尾 見 敦 子
 進行・話題提供： 国立音楽大学 山 本 幸 正
 指定討論者：東京都教育委員会 浅 田 裕
- 共同企画Ⅴ** ラウンドテーブル（5-212）20日（日）13：15～14：45 186
 共感性と音楽
 —ホルモンから読み解く—
 コーディネータ： 新潟大学 森 下 修 次
 話題提供： 奈良教育大学 福 井 一
 大阪樟蔭女子大学 豊 島 久美子
 ATR-Promotions 岡 本 悠 子
 指定討論： 岡山大学 小 川 容 子

共同企画Ⅵ ラウンドテーブル（5-213）20日（日）13：15～14：45 187
 音楽づくりの導入としての「クロック・オーケストラ」
 —その教育的可能性と社会への広がり—

企画・話題提供： 文教大学 近 藤 真 子
 司会・進行： 文教大学 島 崎 篤 子
 話題提供： 作曲家 近 藤 浩 平
 社会福祉法人にじのいえ 鈴木 大 輔

共同企画Ⅶ ワークショップ・デモンストレーション（5-401）20日（日）15：00～16：30
 188

バレエ『くるみ割り人形』を題材とした学際的な音楽のコラボレーション
 —伝統楽器と電子テクノロジーを含む音楽と身体表現・物語の関わり合い—

企画・学際領域： 福岡女子短期大学 壽 谷 静 香
 フルート： 埼玉大学 竹 澤 栄 祐
 尺八： 東京学芸大学名誉教授 筒 石 賢昭山
 電子テクノロジー： 就実大学 中 西 裕
 三味線・ヴァイオリン：お茶の水女子大学附属中学校 中 山 由 美
 物語（国語教育）： 元岐阜大学 安 居 總 子
 コーディネーター： 岡山県立大学 安久津 太 一

共同企画Ⅷ パネルディスカッション（5-408）20日（日）15：00～16：30 189
 学校音楽教育の未来とICT活用

話題提供：埼玉県戸田市立戸田東小学校 小 梨 貴 弘
 埼玉県教育委員会 大 木 まみこ
 コーディネーター： 昭和女子大学 永 岡 都
 問題提起・司会進行： 大東文化大学 深 見 友紀子

共同企画Ⅸ ラウンドテーブル（5-409）20日（日）15：00～16：30 190
 Out of Logos

—哲学身体論によるUniversal Designの構築—

弘前大学 今 田 匡 彦
 帝京大学 塚 原 健 太
 弘前大学教育学部附属特別支援学校 小 枝 洋 平
 青森明の星短期大学 千 葉 修 平

共同企画Ⅹ パネルディスカッション（5-301）20日（日）15：00～16：30 191
 学校教育の唱法問題

—グローバルな視点から考える—

企画・司会： 横浜国立大学 小 川 昌 文
 話題提供：川村学園女子大学 尾 見 敦 子
 名古屋女子大学 稲 木 真 司
 指定討論者： 台中教育大学 陳 曉 嫻
 聖グレゴリオの家 辻 康 介

共同企画XI ラウンドテーブル(5-311) 20日(日) 15:00~16:30 192
学びをデザインする教材研究を考えよう

話題提供: 目黒区立田道小学校 丸山 智子
三鷹市立第六中学校 堀田 夕里加
国立音楽大学大学院生 鶴岡 翔太
話題提供・司会: 国立音楽大学 山本 幸正

共同企画XII パネルディスカッション(5-212) 20日(日) 15:00~16:00 193
「イメージ奏法」を応用した幼児から児童期のピアノ演奏指導法

—ピアノ演奏指導の中で行なう音楽の可視化による創造力と論理的思考の育成—

企画・司会・提案: 愛知教育大学 武本 京子
話題提供者: 名古屋音楽大学付属アカデミー 神谷 舞

共同企画XIII ラウンドテーブル(5-213) 20日(日) 15:00~16:00 194
降矢美彌子の目指した音楽教育

—地球音楽の喜びをあなたへ—

企画・司会・話題提供: 福島県二本松市立原瀬小学校 山崎 純子
話題提供: 福島県会津坂下町立坂下東小学校 目黒 稚子
福島県福島市立信陵中学校 大木 恵美
千葉県立四街道高等学校 竜田 晴美

院 生 フォ ー ラ ム

院生フォーラム(5-311) 20日(日) 12:00~13:30 195
5つのフィールドから音楽教育を考える

—学生による研究活動の発展を目指して—

司会・進行: 東京藝術大学大学院生 川畑 有佳
グループリーダー: 東京藝術大学大学院生 吉田 紘晃
東京藝術大学大学院生 庄司 健人
東京藝術大学大学院生 伊藤 綾乃
大会実行委員担当者: 山梨大学 小島 千か
東京藝術大学 伊原 小百合